

自動ドア開閉装置の性能要求事項に関する JIS 制定

—自動ドア開閉装置の更なる品質の向上を目指して—

2026 年 2 月 20 日

ドアを開閉する駆動装置と、周辺の人や物を検出する検出装置からなる「自動ドア開閉装置」は、自動ドアの重要な構成要素です。しかしこれまで、その性能について規定する国家規格(JIS)が存在せず、装置の品質を客観的に証明することが難しい状況でした。

今般、自動ドアの更なる品質向上を目指す観点から、製造者や使用者から JIS 策定の要望が寄せられました。これを踏まえ、自動ドアの開閉装置に係る性能基準(機械的性能、電気的性能、耐環境性能など)を規定した新たな JIS(JIS A 4723(自動ドア開閉装置の性能要求事項))を制定しました。

また同時に、既存の JIS(JIS A 1551(自動ドア開閉装置の試験方法))を改正することにより、新たな JIS に対応するための試験方法を規定しました。

これら JIS の制定及び改正により、さらに信頼性の高い自動ドアが提供されるだけでなく、製造者と調達者の間でこれら JIS を用いることにより、取引の効率化が進むことも期待できます。

1. JIS 制定の目的

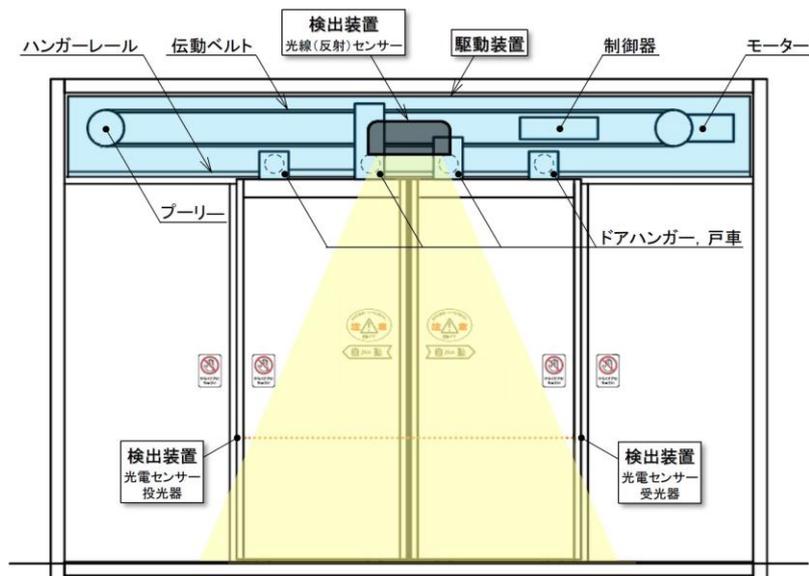
「自動ドア開閉装置」とは、ドアを開閉する駆動装置と、人や物を検出する検出装置を合わせた総称です。

自動ドア全体の安全性を規定する JIS は既に制定されています^{※1}が、その重要な構成要素である自動ドア開閉装置については、一般的な基本性能を規定する業界独自基準^{※2}が存在するに限られていました。

このような状況に対し、今般、製造者や使用者から、業界独自基準を基にさらに内容を拡充させた国家規格(JIS)を策定することで、自動ドア開閉装置の一層の品質向上等を目指したいとの要望がありました。今回新たに制定した JIS(JIS A 4723)は、この要望に基づき、自動ドア開閉装置の性能基準に関する要求事項を規定したものです。また同時に、自動ドア開閉装置の試験方法を定める既存の JIS(JIS A 1551)についての改正も行い、新たに制定した JIS に対応する試験方法を追加しました。

※1 JIS A 4722 (歩行者用自動ドアセット—安全性)

※2 全国自動ドア協会の内規



標準的な引き戸用自動ドア開閉装置（駆動装置/検出装置）の例
（出典：全国自動ドア協会作成）

2. JIS 制定・改正の主なポイント

今回新たに制定した JIS (JIS A 4723) の主なポイントは次のとおりです。

① 駆動装置の必須性能・任意性能の例

- 必須性能（満たさなければならない性能又は製品仕様として示さなければならない性能）として、耐久性や適用可能な戸の質量・寸法、開閉速度などを規定
- 任意性能（必要性に応じて、満たす性能又は製品仕様として示す性能）として、作動風速、耐衝撃性、耐風圧性などを規定

② 検出装置の必須性能・任意性能の例

- 必須性能として、耐じん（塵）性・耐水性、自動起動装置や検知保護装置の検出範囲、手動起動装置の操作力や機械的強度・耐久性などを規定
- 任意性能として、耐腐食性を規定

また、今回改正した JIS (JIS A 1551) については、上記 JIS A 4723 で規定する自動ドア開閉装置の必須性能及び任意性能に対応する性能試験方法を新たに追加しました。

3. 期待される効果

これら JIS の制定及び改正により、自動ドア開閉装置の性能基準とその試験方法が規定されることで、自動ドア開閉装置の品質が客観的に担保され、より信頼性の高い自動ドアが提供されることにつながります。また、製造者と調達者の間でこれら JIS を用いることで、取引の効率化に繋がることも期待されます。なお、本 JIS は、公共建築工事標準仕様書（建築工事編）への引用が検討される予定です。

※日本産業標準調査会 (JISC) の HP (<https://www.jisc.go.jp/>) から、「A4723」、「A1551」で JIS 検索すると本文を閲覧できます。

【担当】 経済産業省 イノベーション・環境局 国際標準課
bzl-s-kijun-ISO@meti.go.jp、03-3501-1511(3423)
(課長)中野 (担当)湯川、本田、百瀬、石毛